

令和4年度 観光振興施策の実施状況

観光政策課

目次

	頁
I 重点施策	
1 国内誘客強化施策	1
2 滞在型観光推進施策	4
3 国際観光プロモーション施策	7
4 ニューノーマルMICE誘致促進施策	10
II 基本施策(重点施策の推進に向けた共通した取組み)	
1 観光マーケティングの強化	12
2 安全安心な受入環境の推進	12
3 観光誘客基盤の強化	13
4 観光人材の育成・強化	14
5 観光コンテンツの充実	16
6 情報発信力の強化	21
7 広域観光の推進	25
III 徳島県観光振興基本計画数値目標 令和4年度進捗状況一覧	26

I 重点施策

1 国内誘客強化施策

方向性

首都圏、関西圏、中京圏を重点地域として、旅行形態の主流となっている個人旅行者の誘客促進を強化するとともに、旅行会社への積極的な誘客営業活動に取り組みます。

最大市場である首都圏においては、本県の観光地としての認知度向上や魅力向上のための情報発信に重点的に取り組みます。

本県への観光客の割合が最も高い関西圏や中京圏においては、リピーター確保に重点的に取り組みます。

また、新たな観光誘客の開拓地域として、直行便や乗り継ぎで航空路線がつながり、本県のアンテナショップがある北海道、九州からの誘客を促進します。

これらの取組みにより、旅行者全体において大きなウェイトを占めている国内旅行者の誘客にしっかりと取り組みます。

【実施状況】

①個人旅行者向け（B to C）プロモーション

- ・「#徳島あるでないで」キャンペーン（観光政策課）

- ◆オンライン旅行会社や大手旅行会社のWEBサイトを中心に、「徳島県特集ページ」を開設し、「体験」や「食」を組み込んだ宿泊プランを造成した。
- ◆徳島の魅力を新発見・再発見してもらうため、SNSを活用した投稿キャンペーンを実施した。



「#徳島あるでないで」キャンペーン

- ・旅行雑誌や徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」を通じて旅行者に直接届く形で、旬の情報を積極的に提供した。（観光政策課）
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により国内外からの観光客が減少する中、旅行商品や宿泊サービスに対する割引及びクーポン券付与といった支援を継続的に行い、県内観光の需要喚起を図った。（観光政策課）
- ◆R3.6.12～10.10 みんなで！とくしま応援割
- ◆R4.10.11～R4.12.27、R5.1.10～6.30 みんなで！徳島旅行割
※団体旅行のみR5.7.21まで
- ◆R4.11.7～R4.12.27、R5.1.10～3.31 みんなで！徳島旅行割プラス
※交通付き宿泊旅行商品に対する県独自の上乗せ補助



みんなで行こう！徳島旅行割

②旅行会社向け（B to B）プロモーション

- ・旅行会社向けプロモーションとして、商談会、セミナー、セールスを実施した。
（観光政策課）

◆商談会

- ・「オール徳島」観光商談会 R4.5.31

◆観光セミナー

- ・四国ブロック観光情報交換会 R4.6.7
- ・教育旅行誘致説明会(東京) R5.3.6-7



「オール徳島」観光商談会

◆セールス

- ・JAL青森チャーターセールス（青森） R4.7.25,26
- ・バス助成利用促進セールス（奈良・京都・広島）R5.3.20,23,24

③アンテナショップ等を拠点とした誘客促進

- ・全国に向けた、徳島県産品・観光の情報発信や県産品の販路拡大を実現するため、大阪・名古屋での物産センターや、東京・福岡・札幌においてコンビニ協働事業を活用したアンテナショップの運営、「阿波とくしまアンテナショップ」認定店の支援等を行った。
（観光政策課）



大阪「とくしま県の店」

- ・首都圏をはじめ大都市の協力店（飲食店）と連携したメニューフェアや徳島物産展の開催のほか、情報発信・交流拠点「ターンテーブル」「地域商社阿波ふうど」及び「2台のPR車両」など本県ならではの「強力な推進ツール」のフル活用により、コロナ禍の消費者の行動変容やニーズに対応した県産品の認知度向上、販売拡大を促進し、「徳島ファン」の拡大や「とくしま回帰」へ繋げる取組を実施した。（もうかるブランド推進課）



ターンテーブル

- ・県外本部内観光コーナー、都内アンテナショップなどのPRコーナーにおいて観光ポスター等を掲示するとともに、各種観光パンフレットを来客者や旅行者に提供した。また、各種イベントにおいても積極的に観光情報を提供した。（東京本部、関西本部）



徳島県観光ガイドマップ

④「徳島」の魅力発信

- ・Instagramにおけるハッシュタグ「#徳島あるでないで」を付けた魅力ある画像の投稿の呼びかけ、県観光情報サイト「阿波ナビ」のSNS（フェイスブック、Instagram、ツイッター）における観光情報の発信に取り組んだ。（観光政策課）

⑤四国デスティネーションキャンペーンによる誘客促進

- ・四国デスティネーションキャンペーン（令和3年10月～12月）は終了したところであるが、令和4年10月10日、「阿波とくしま観光の日・週間」イベントとして、「藍よしのがわトロッコ2周年記念イベント」に併せて観光客に対し、観光PR活動を実施した。

（観光政策課）

「藍よしのがわトロッコ」令和4年度 乗車実績
合計4,306名（定員6,160名）、乗車率69.9%
※令和4年4～6月、9～11月運行



観光の日イベント

⑥J1復帰を契機とした誘客促進

- ・「PRIDE OF 中四国」において、ホーム戦及びアウェー戦時に試合会場にて観光PRを行い、来場者に向け観光情報の発信を行った。また、ハーフタイム時には抽選会を行い、徳島県産物品を景品として用いることで観光面と物産面の両方をPR活動に取り組んだ。（にぎわいづくり課）

2 滞在型観光推進施策

方向性

本県は、東部、西部、南部の3エリアに多くの観光資源があり、各エリアで観光地としての特徴や魅力が異なっています。

県観光協会、DMO等と研究会を立ち上げ、県内周遊ルートを確立し、県東部から県南部への誘客、県西部から県東部への誘客を促進するなど、滞在型観光を推進し、宿泊者数、観光消費額の増加につなげます。

また、観光コンテンツの充実や、観光客のニーズに応じた情報発信により周遊を促進するなど、本県を訪れた観光客の長期滞在に向けた取組みを推進します。

特に、「ワーケーション」や「プレジャー」などの新たな旅行スタイルに対応した旅行商品の造成や体験プログラムの情報発信、長期滞在型の客室の整備促進に取り組みます。

【実施状況】

①県内周遊ルートの確立

- ・ 県東部エリアを管轄する（一社）イーストとくしま観光推進機構、県西部エリアの（一社）そらの郷、県南部エリアの（一社）四国の右下観光局の3つのDMOや、観光協会と連携からなる「徳島県DMO観光推進協議会」を設立し、また地元観光事業者の独自アイデアを生かした滞在型の県内周遊メディアツアーを実施、旅行関係メディア5社（るるぶ、ことりっぶ、ディスカバージャパン、旅の手帖、コロカル）に各ルートの魅力が掲載された。（観光政策課、南部総合県民局、西部総合県民局）

◆周遊性・滞在性を高めるメディアツアーの実施

- ・ 東部から西部ルート R4.12.20～12.22
- ・ 東部から南部ルート R5.2.10～2.12



にし阿波 体験型教育旅行
そらの郷山里物語



②近隣県と連携した広域周遊観光の促進

- ・ 四国ツーリズム創造機構及び主要構成団体である四国4県、JR四国と連携し、観光説明会と商談会を開催するとともに、適宜観光イベント出展等を実施した。（観光政策課）

◆観光説明会

- ・ JR商品説明会 R4.5.23

◆観光商談会

- ・ 四国観光商談会（大阪） R4.10.20
- ・ 四国観光商談会（東京） R4.10.27

- ・ 兵庫県と連携し、割引クーポン付き「淡路島&徳島とくともく周遊ガイド」の作製・配布を実施し、周遊促進を図った。（観光政策課）

③ニューツーリズム、体験型観光等による滞在促進

- ・景勝地や海・河川といった水辺の魅力、また、古民家や酒蔵といった建築物を活用した観光コンテンツの磨き上げや、それらを活用した旅行商品造成を行った。（観光政策課）
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小売・飲食サービス業・観光関連事業者などの需要を喚起するため、感染防止対策を徹底し、安心安全に配慮したアニメイベント「マチ★アソビ」及び「ぷち★アソビ」の開催を支援し、春のチャレンジ！マチ★アソビvol.3では26,000人、秋のマチ★アソビvol.25では39,000人、冬のぷち★アソビvol.9では4,000人が来場した。（にぎわいづくり課）
- ・「とくしま農林漁家民宿」等での、感染症予防対策等の受入方法及び、最近のトレンドについて学ぶ研修の開催や、特色ある体験プログラムとして、とくしま農林漁家民宿で泊まる狩猟体験モニターツアーを実施した。また、とくしま農林漁家民宿及び周辺エリアの観光情報等を掲載したデジタルパンフレットを制作した。（鳥獣対策・ふるさと創造課）
- ・動画配信サイト「YouTube」に専用チャンネル「みぎアゲTV」を開設し、県南部の観光資源やアクティビティに関する情報発信を行ったほか、四国の右下観光局と連携し、ファミリー層向けの体験型ツアーや「DMV+1」看板商品の企画造成による誘客促進に取り組んだ。
また、「四国の右下」の魅力を国内外に広く発信するため、新たに創設した「四国の右下観光大使」を活用し、著名人の発信力を生かしたPR活動を行った。
（南部総合県民局）



四国の右下観光大使「就任式」



キャンプ体験ツアー

- ・ポストコロナ時代の新たなコンテンツづくりのため、既存の体験プログラムの磨き上げや複数プログラムの組合せなど、観光コンテンツの充実を図った。
インバウンドの復活を目指し、アウトドア関心層や中間富裕層といったターゲットごとにファミツアーを実施し、外国人目線での意見を取り入れ、ブラッシュアップを図った。
（西部総合県民局）

④ワーケーション、ブレジジャー等による滞在促進

- ・「アウトドア」、「癒し」、「貸し切り」、「オーダーメイド」などをキーワードに、「滞在型・通年型」の観光コンテンツやコロナ禍における「ニューノーマル」に対応した「ニューツーリズム」の磨き上げを実施するとともに、国内外の旅行会社にプロモーション活動を実施した。（観光政策課）
- ・宿泊者の増加を図り、地域経済活性化につなげるため、宿泊事業者が施設の魅力アップに取り組む事業に対して支援した。（観光政策課）

- ・誘致ターゲットを「若者」「ファミリー」「移住検討者層」など個人へと拡大した新たな「アワーケーションプラン」を造成し、「SDGs」や「脱炭素化」など本県の先駆的な取組の全国発信や、県外事業者と県内地域団体が共同で実施する「社会貢献活動」を促進することで、アワーケーションのブランド化を推進するとともに、地域の課題解決を図った。（とくしまぐらし応援課）



ワーケーション

- ・四国の右下観光局と連携し、「新しい生活様式」に対応した体験型コンテンツやワーケーションなど「新たな旅行スタイル」の開発に取り組んだ。（南部総合県民局）
- ・コロナ禍で密を避けやすいアウトドアに関心が高まったことに注目し、うだつの町並みの人力車での周遊と藍染め体験を組み合わせたり、剣山トレッキング後、山頂ヒュッテで自家製クラフトビールを味わえる体験など、新たなアウトドアコンテンツを造成した。（西部総合県民局）

⑤効果的な情報提供

- ・徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」において、人工知能(AI)を活用したFAQサービスや体験・食等の外部サイトとの連携機能により効果的な情報提供を行うとともに、季節ごとに旬の情報を収集、発信した。また、開催中の地域イベントに参加し、体験談などを随時SNSで発信したほか、市町村や市町観光協会等からの情報提供により、観光情報を発信した。（観光政策課）
- ・本県の認知度向上や観光客の増加を図るため、スマートフォンで利用できる観光アプリ「徳島たびプラス」により、パスポート形式のスタンプラリーを行うなど、観光客の県内における周遊促進や観光情報の発信に取り組んだ。（観光政策課）

◆R4年度 「徳島たびプラス」おもてなし施設数 約450施設

⑥観光ボランティアガイドの育成強化

- ・観光ボランティア活動の認知度を高め、活動従事者の意欲の向上、ひいては本県を訪れる観光客へのホスピタリティ向上を図るため、観光ボランティアガイド功労賞表彰制度により、1個人・1団体に対して表彰を行った。（観光政策課）
- ・県内で組織したボランティア通訳団体「徳島GGクラブ」の会員等を対象に、「とくしま観光アカデミー」等の実地演習研修の場を活用した人材育成を行い、県内におけるガイド技術の向上・外国人受入体制の整備を図った。（観光政策課）
- ・県内観光ボランティア団体等の観光事業に携わる人材育成を図るため、「とくしま観光アカデミー」等の研修の場を案内し、受入体制の強化を図った。（県観光協会）

3 国際観光プロモーション施策

方向性

新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本における水際対策の抜本的強化、また、多くの国・地域でも出入国等の制限がなされ、世界的に旅行需要が停滞している状況となっております。

一方、政府の「観光ビジョン実現プログラム2020」においては、「国・地域ごとの感染収束を見極め、誘客可能となった国等からインバウンドの回復を図ることで、再び観光を成長軌道に乗せ、観光立国を目指す」とされております。

また、訪日外国人旅行者数についても、「2030年6,000万人」を目標値に据え置き、必要な施策を展開していくことになっております。

こうした中、本県としても、国・地域ごとに感染収束を見極めつつ、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」など国際的な大規模イベントの開催を見据え、徳島ならではの地域資源の魅力発信を行っていくことが重要であり、オンラインを積極的に活用し、国際観光の回復に備えます。

【実施状況】

①地域別の誘客施策

◇「重点国・地域」東アジアからの誘客施策

- ・アフターコロナにおける本県への外国人誘客につなげるため、現地旅行会社や広域連携DMOと連携を図り、東アジアでの旅行セミナーの開催や旅行博への出展、観光交流イベントに合わせた商談会の開催、SNSを活用した情報発信などを実施した。

(観光政策課)



SNSによる発信 (Discover Tokushima)

◇「有望国・地域」欧米豪や東南アジアからの誘客施策

- ・「阿波おどり」の魅力を広く海外に発信することで、徳島の知名度向上と観光誘客に繋げるため、「ドイツ・ニーダーザクセン州との友好交流15周年記念事業」に合わせ、本県観光情報の提供と阿波おどり指導、アメリカ最大級の旅行博「LATAS（ラタス）」への出展や米国の現地旅行会社を対象としたファムツアーを実施した。（観光政策課）



ドイツでの阿波おどり披露



米国旅行博出展（LATAS）

- ・新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じた上で開催した「秋の阿波おどり」において、世界各国（アメリカ、ブラジル、台湾）等の海外連を紹介する動画の作成や海外の阿波おどり連から2名招聘しトークショーを行うなど、世界の「阿波おどり連」との連携強化に取り組んだ。
また、在香港日本国総領事館主催の「日本秋祭in香港」において「秋の阿波おどり」の様子をライブ配信した。（観光政策課）

②国際スポーツ大会、大阪・関西万博を契機とした誘客促進

- ・2025年大阪・関西万博に向けて、各種ワークショップやステージイベント、カウンタダウンボード制作披露等による「開幕1000日前イベント」を開催するなど、機運醸成に取り組んだ。（万博推進課）



SNSでのイベント告知と制作したカウンタダウンボード

- ・「万博は『ゲートウェイ』、徳島『まるごとパビリオン』」とのコンセプトのもと、徳島ならではのコンテンツを世界に向けて発信するため、本県への「ゲートウェイ機能」を担うウェブサイトの構築を実施した。（万博推進課）
- ・「ワールドマスターズゲームズ2027関西」の開催に向け、本県開催競技のテストイベント開催等への支援や広報活動を実施し、各競技会における運営機能及び受入体制の向上を図るとともに、本番大会の開催に向け、機運の醸成及び大会ノウハウの継承につなげた。（スポーツ振興課）

③広域連携によるプロモーション活動

- ・関西広域連合、関西観光本部、四国ツーリズム創造機構、せとうち観光推進機構と連携し、観光PRや商談会への参加、情報発信など、スケールメリットを生かした観光プロモーションにより広域周遊を促進した。（観光政策課）

④効果的な情報発信

- ・徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」、徳島県多言語観光情報ウェブサイト「Discover Tokushima」（英語・繁体字・簡体字・ハングル）による情報発信、SNSを活用した情報発信（香港向け、台湾向け、タイ向け、英語圏向け）を実施した。
（観光政策課・県観光協会）



徳島県多言語観光情報ウェブサイト「Discover Tokushima」

- ・本県の強みであるサステナブルな取組について、雑誌「FRaU S-TRIP」（講談社）に掲載された内容をもとに、「徳島のSDG s」を紹介する動画を多言語（英語・ドイツ語・繁体字・簡体字）で作成、世界に発信した。
（観光政策課）
- ・アフターコロナにおける外国人観光誘客を促進するため、旅行会社への各種助成を行うとともに、周遊促進に向け、近隣県と連携し、海外メディアを活用した情報発信等を行った。
（観光政策課）

⑤受入環境の整備

- ・宿泊者の増加を図り、地域経済活性化につなげるため、宿泊事業者が施設の魅力アップに取り組む事業に対して支援した。（再掲／観光政策課）
- ・県内で組織したボランティア通訳団体「徳島G Gクラブ」の会員等を対象に、「とくしま観光アカデミー」等の実地演習研修の場を活用した人材育成を行い、県内におけるガイド技術の向上・外国人受入体制の整備を図った。（再掲／観光政策課）

⑥国際線の誘客促進

- ・現地旅行エージェントと連携し、アフターコロナを見据えた徳島阿波おどり空港への国際便の就航再開に向け、香港や台湾の情報収集や本県の魅力発信に努めるとともに、令和5年3月に就航した国際チャーター便への運航支援を実施した。（次世代交通課）
- ・アフターコロナにおける本県への外国人誘客につなげるため、現地旅行会社や広域連携DMOと連携を図り、東アジアでの旅行セミナーの開催や旅行博への出展、観光交流イベントに合わせた商談会の開催、SNSを活用した情報発信などを実施した。
（再掲／観光政策課）

⑦クルーズ客船の誘致推進

- ・「徳島小松島港クルーズ船受入協議会」により感染症対策の体制整備を行い、クルーズ船の安全安心な寄港を実現（令和4年度寄港実績7回）させた。
また、国際クルーズの再開を見据え、国内外の船会社へのポートセールスにより「徳島ならではの」魅力を発信するなど、寄港拡大に向けた取組を行った。
（運輸政策課港にぎわい振興室）



クルーズ船の寄港

4 ニューノーマルMICE誘致促進施策

方向性

学会や各種大会等のMICEは、多くの集客や宿泊が見込まれるとともに、飲食、交通、物流など幅広い業種への経済波及効果が期待できることから、積極的な誘致に取り組みます。

特に、大規模大会の開催が減少する中においては、今後、増加が期待できる「現地開催とオンラインを組み合わせた会議」をはじめ、ニューノーマルに対応した大会等も含めた誘致活動を行います。

また、多くの宿泊につながるナイトイベントやスポーツ合宿、報奨旅行等の誘致に取り組みます。

【実施状況】

①国内・国際コンベンションの情報収集と積極的な誘致活動

- 国内・国際コンベンションの誘致を促進するため、関係団体や高等教育機関等での開催計画の情報収集と意向調査を実施するとともに、とくしまコンベンション誘致推進協議会に「国際MICE誘致促進部会」を設置し、誘致に向けた課題や取組について意見交換を行った。（県観光協会）

②ニューノーマルに対応した大会等の誘致活動

- ウィズコロナ・アフターコロナにおける新たなニーズを踏まえ、現地開催とオンラインを組み合わせた会議についても情報収集を行うとともに、商談会にも積極的に参加し、主催者に対し、会議施設、ユニークベニューなどの提案を行った。（県観光協会）



MICE誘致イベント出展（東京）

③コンベンション助成制度の活用、ニーズに応じた制度の充実

- 県内で開催されるコンベンションで、支援助成金の対象要件を満たす場合は、コンベンション主催者に対し開催費を助成するほか、郷土芸能等のアトラクション助成やシャトルバス運行等の助成を行った。

さらに、県内の主催者、事業者を対象に、国際会議誘致・開催事例について、ハイブリッド形式のセミナーを実施し、アフターコロナ・ウィズコロナに向けて競争力強化を図った。

（県観光協会）

④商談会・展示会や個別訪問による本県の助成制度や支援体制のPR強化

- ・全国規模のMICE誘致促進を図るため、MICE商談会に参加し、主催者側で開催の決定権を有する責任者などがコンベンション施設等の視察を希望する場合は、本県の支援策を積極的にPRした。（県観光協会）

- ◆国際MICEエキスポ（東京）
- ◆MICE EXPO in Kansai（大阪）



MICE商談会



MICEエキスポ2022（大阪）

⑤アフターコンベンションの充実

- ・魅力あるアフターコンベンション情報を主催者に対して的確に発信し、県内での滞在日数や周遊箇所数の拡大に努めるとともに、コロナ禍でのWEB開催時には観光写真・動画の提供を行った。（県観光協会）

⑥ナイトイベント、スポーツ合宿等の情報収集と積極的な誘致活動

- ・「徳島県スポーツコミッション」を核として、県内でのスポーツ合宿の魅力を発信するPR動画や、県内スポーツ施設・宿泊施設を掲載したパンフレットを作成するとともに、全国規模のスポーツ博覧会に出展するなど、積極的なスポーツ大会・合宿のPR・誘致活動を実施した。（スポーツ振興課）



スポーツ合宿受入（ラグビー）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいる県内観光消費の回復を図るため、県外からの誘客が期待できる感染症対策を実施したイベントの開催を「ニューノーマルイベント活性化事業補助金」により支援した。（観光政策課）
- ・「ワールドマスタースゲームズ2027関西」の開催に向け、本県開催競技のテストイベント開催等への支援や広報活動を実施し、各競技会における運営機能及び受入体制の向上を図るとともに、本番大会の開催に向け、機運の醸成及び大会ノウハウの継承につなげた。（再掲／スポーツ振興課）



「ワールドマスタースゲームズ2027関西」テストイベント（ラフティング）

Ⅱ 基本施策（重点施策の推進に向けた共通した取組み）

1 観光マーケティングの強化

方向性

多様化する観光客のニーズや変化する観光を取り巻く環境、本県観光の現状と課題を的確に把握し、分析を行う、観光マーケティングを強化することにより、戦略的な誘客施策を推進します。

【実施状況】

■ マーケティング調査等の活用

- ・国が実施している観光統計の活用に加え、誘客ターゲットの絞り込み、プロモーション手法など、効果的な観光施策につなげるため、主要観光施設に訪れた観光客への来訪意向調査を実施した。（観光政策課）
- ・県内観光産業の着実な回復につなげるため、観光WEBサイトやSNSを利用したデジタルマーケティングによる調査・分析結果をもとに、ターゲットを絞ったプロモーションを実施するとともに、県観光情報サイト「阿波ナビ」に新たな情報発信機能を実装・拡充し、ユーザーニーズに応じたコンテンツを提供した。（観光政策課）

2 安全安心な受入環境の推進

方向性

観光客が安全安心に旅行できるよう観光地等における感染予防対策や防災・危機管理対策の強化を図ります。

【実施状況】

■ 感染予防対策の徹底

- ・感染防止対策の徹底を図るため、飲食店を中心とする「感染拡大予防ガイドライン」実践店に対して、巡回の際に周知啓発を実施した。また、店内における感染防止対策の周知啓発のため、ポスター等の配布を行った。（危機管理政策課）
- ・感染拡大防止に積極的に取り組み、また、従業員等の方々に抗原検査を受けていただいている飲食店・宿泊施設を「コロナ対策三ツ星店」と位置づけ、飲食・宿泊における安全・安心の確保に努めた。（危機管理政策課・観光政策課）



コロナ対策三ツ星店ステッカー

■災害発生時の安全・安心な受入環境の整備

- ・防災・危機管理情報「安心とくしま」ホームページやSNSにおいて、観光客に対し、大雨に関する情報をはじめとした様々な危機事象について、地理空間情報等との連動により、迅速かつ正確な情報を周知した。（危機管理政策課・とくしまゼロ作戦課）
- ・徳島県多言語観光情報ウェブサイト「Discover Tokushima」やSNSにおいて防災・危機管理に係る情報発信を実施した。（観光政策課）
- ・災害時における通信手段の確保を図るとともに、平時には観光情報等の提供・発信に活用するため、避難所や観光施設等に整備した「Tokushima Free Wi-Fi」の運営を行った。また、機器の更新時期を迎える施設から順次、民間事業者が運営する新たなWi-Fiサービスへと移行を進め利便性を高めるとともに、Wi-Fi導入を希望する施設に新規整備を行った。（デジタルとくしま推進課）

3 観光誘客基盤の強化

方向性

交通体系の整備やWi-Fi環境の整備、観光客を温かく迎える受入環境の整備等、観光客の快適性、利便性、満足度の向上につながる誘客基盤の強化を図ります。

【実施状況】

■一次交通の充実

- ・徳島阿波おどり空港発着路線の維持・拡充を図る利用促進事業（旅行商品造成助成やPRイベント等）を実施した。（次世代交通課）
- ・四国を循環する高規格道路ネットワークである「四国8の字ネットワーク」や主要幹線道路の整備を促進した。（高規格道路課）

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ◆徳島南部自動車道 | ① 徳島JCT～徳島沖洲 完成供用（R4.3供用） |
| | ② 徳島沖洲～徳島津田 完成供用（R3.3供用） |
| | ③ 徳島津田～小松島 用地取得・工事促進 |
| | ④ 小松島～阿南 工事促進 |
| ◆阿南安芸自動車道 | ⑤ 桑野道路 調査設計・用地取得・工事促進 |
| | ⑥ 福井道路 調査設計・用地取得・工事促進 |
| | ⑦ 海部野根道路 調査設計・用地取得促進 |
| ◆一般国道55号 | ⑧ 牟岐バイパス 調査設計・用地取得・工事促進 |
| | ⑨ 阿南道路 調査設計促進 |
| ◆一般国道192号 | ⑩ 徳島南環状道路 調査設計・用地取得・工事促進 |
| ◆一般国道32号 | ⑪ 猪ノ鼻道路 完成供用（R2.2供用） |
| | ⑫ 32号改築防災 調査設計促進 |

■二次交通の充実

- ・次世代地域公共交通ビジョンの具体化に向け、「モーダルミックスの推進」、「交通結節点の環境整備」「地域住民の意識醸成」等に努めた。（次世代交通課）
- ・観光客と接する機会が多く、来県者の徳島に対する印象を左右する「タクシー運転者」の「おもてなし力」の向上を図ることを目的に、「おもてなしタクシー」の充実強化を図った。（観光政策課）



おもてなしタクシー

■受入環境の向上

- ・県内で組織したボランティア通訳団体「徳島G Gクラブ」の会員等を対象に、「とくしま観光アカデミー」等の実地演習研修の場を活用した人材育成を行い、県内におけるガイド技術の向上・外国人受入体制の整備を図った。（再掲／観光政策課）
- ・「とくしま農林漁家民宿」等での、感染症予防対策等の受入方法及び、最近のトレンドについて学ぶ研修の開催や、特色ある体験プログラムとして、とくしま農林漁家民宿で泊まる狩猟体験モニターツアーを実施した。また、とくしま農林漁家民宿及び周辺エリアの観光情報等を掲載したデジタルパンフレットを制作した（再掲／鳥獣対策・ふるさと創造課）
- ・四国の右下観光局と連携し、「新しい生活様式」に対応した体験型コンテンツやワークショップなど「新たな旅行スタイル」の開発に取り組んだほか、新型コロナウイルス感染症対策やアフターコロナを見据えたインバウンド誘致を図るため、観光客の受入体制の整備に取り組んだ。（南部総合県民局）



サーフィン



キャンプ体験ツアー

■宿泊施設、観光関連施設の充実

- ・宿泊者の増加を図り、地域経済活性化につなげるため、宿泊事業者が施設の魅力アップに取り組む事業に対して支援した。（再掲／観光政策課）

4 観光人材の育成・強化

方向性

本県の観光人材の育成・強化を図る「とくしま観光アカデミー」の実施等により、本県を訪れた観光客の満足度、利便性の向上を図ります。

【実施状況】

■「とくしま観光アカデミー」による人材育成

- ・「観光人材の即戦力強化」、「次代の観光産業の担い手育成」、「地域で活躍する観光人材の創出」を図るため、観光事業従事者や社会人を対象とした「ビジネスコース」、高校生や大学生、社会人を対象とした「チャレンジコース」、ボランティアガイドやアクティブシニアを対象とした「地域で活躍コース」を設け、オンライン講座（全14講座）と演習講座（全2講座）により「とくしま観光アカデミー」を開催した。（観光政策課）
- ・県内で組織したボランティア通訳団体「徳島G Gクラブ」の会員等を対象に、「とくしま観光アカデミー」等の実地演習研修の場を活用した人材育成を行い、県内におけるガイド技術の向上・外国人受入体制の整備を図った。



とくしま観光アカデミー

■おもてなし力の向上

- ・観光ボランティア活動の認知度を高め、活動従事者の意欲の向上、ひいては本県を訪れる観光客へのホスピタリティ向上を図るため、観光ボランティアガイド功労賞表彰制度により、1個人・1団体に対して表彰を行った。（再掲／観光政策課）
- ・観光客と接する機会が多く、来県者の徳島に対する印象を左右する「タクシー運転者」の「おもてなし力」の向上を図ることを目的に、「おもてなしタクシー」の充実強化を図った。（再掲／観光政策課）
- ・県内観光ボランティア団体等の観光事業に携わる人材育成を図るため、「とくしま観光アカデミー」等の研修の場を案内し、受入体制の強化を図った。（再掲／県観光協会）

■県民による観光情報や魅力の発信

- ・徳島の魅力を自ら体感し、その良さを発信できるよう、座学や体験講座に加え、ZoomやYouTube、サテライト会場で配信される動画を視聴いただく形式により郷土の良さやその価値について学ぶ講座を開催した。（県立総合大学校本部）
- ・徳島の文化・自然・暮らし等に関する地域に密着した学習を通して、「ふるさと徳島」を再発見するための講座や、地域の活性化、特色ある地域づくりなどの取組につながる講座を開催した。（総合教育センター）



講座の様様

- ・静水面でラフティング・SUPを楽しめる「ウォータースポーツ体験」をはじめとする、にし阿波ならではの地域の魅力を再発見する「新あわ学講座」を開催した。（西部総合県民局）
- ・「#徳島あるでないで」や徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」のSNS（フェイスブック、インスタグラム、ツイッター）を活用し、県内の観光情報を発信した。（観光政策課）
- ・県内在住の観光振興に興味がある人材を対象に、情報提供を呼びかけ、徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」等を通じて広く情報発信を行った。（県観光協会）

5 観光コンテンツの充実

方向性

本県が世界に誇る「阿波おどり」をはじめ、アニメを核としたイベント「マチ★アソビ」、「とくしまマラソン」や国際スポーツ大会及びそのレガシーにより誘致する各種スポーツ大会等のイベント、魅力的な地域資源を活かしたニューツーリズムなどの観光コンテンツのさらなる充実を図るとともに、新たな観光コンテンツの発掘、磨き上げを行います。また、観光コンテンツの旅行商品化と販売促進を行います。

【実施状況】

■阿波おどりの最大活用

- ・春の阿波おどり「はな・はる・フェスタ」や夏の阿波おどりの屋外演舞場が3年ぶりに開催されるなど、「阿波おどり」再始動の支援を行ったことに加え、県では新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底した上で、「秋の阿波おどり」を開催し、その様子のライブ配信も併せて実施した。（観光政策課）



秋の阿波おどり

- ・阿波おどりを学び、踊る機会を創出し、徳島ファン獲得を図るため、阿波おどり講座を開催するとともに、講座受講者の成果発表及び徳島の魅力を発信するイベントを実施した。（東京本部）
- ・「観光需要の回復」とそれに伴う「観光誘客の競争激化」に対応するとともに、首都圏での阿波おどりの継承・再始動への契機・機運醸成を図るため、首都圏の「阿波おどりイベント」にて「本場とくしま」の阿波おどり等を活用し、本県の魅力発信を行った。（東京本部）
- ・「2025年大阪・関西万博」の開催を控えた関西圏において、徳島県の魅力を発信し、「若者」や「女性」を主なターゲットとして「徳島ファン」の拡大を図るため、「関西万博」、「阿波おどり」、「三好長慶」を主要なテーマとしたイベントを天王寺駅周辺にて開催した。（関西本部）

■徳島ならではのイベントの充実

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小売・飲食サービス業・観光関連事業者などの需要を喚起するため、感染防止対策を徹底し、安心安全に配慮したアニメイベント「マチ★アソビ」及び「ぶち★アソビ」の開催を支援し、春のチャレンジ！マチ★アソビvol.3では26,000人、秋のマチ★アソビvol.25では39,000人、冬のぶち★アソビvol.9では4,000人が来場した。（再掲／にぎわいづくり課）

- ・4年ぶりの実走大会となったとくしまマラソン2023では、全国から約7,000人のエントリーをいただき、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で開催し、マラソンを通じて本県の魅力を全国に発信するとともに、県民のスポーツ振興、にぎわいの創出を図った。
(にぎわいづくり課)



とくしまマラソン

■ニューツーリズムの充実

- ・活力と魅力にあふれた農山漁村を創出するため、農林水産業とこれに関連する食・景観等を未来に伝えるべき資源「むらのたから」を県内外のイベント等でPRするとともに、VR動画をYouTubeに掲載し、農山漁村地域の魅力の情報発信を行った。(農山漁村振興課)
- ・「とくしま農林漁家民宿」等での、感染症予防対策等の受入方法及び、最近のトレンドについて学ぶ研修の開催や、特色ある体験プログラムとして、とくしま農林漁家民宿で泊まる狩猟体験モニターツアーを実施した。
また、とくしま農林漁家民宿及び周辺エリアの観光情報等を掲載したデジタルパンフレットを制作した。(再掲/鳥獣対策・ふるさと創造課)
- ・本県の豊かな自然環境をPRするとともに、エコツーリズムを推進した。
(グリーン社会推進課)

■体験型観光の推進

- ・旅行先の地域が主体となって、地域の良さをアピールし、教育旅行プログラム等を組み立て、集客に取り組み、教育旅行誘致のため、教育旅行セミナーでのPRや東京都、広島県等の学校に直接訪問し、積極的な営業に取り組んだ結果、西部の「一般社団法人そらの郷」、南部の「南阿波よくばり体験推進協議会」による体験型教育旅行の受入を行った。
(観光政策課)



体験型教育旅行

- ・一般社団法人「四国の右下観光局」と連携し、県南の魅力ある食材やアクティビティ、歴史、文化体験等を一体的に提供するキャンプコンテンツ商品造成の実証実験を行った。
(南部総合県民局)
- ・一般社団法人「そらの郷」を窓口「体験型教育旅行」の誘致に取り組んでおり、コロナウイルスの感染防止対策を徹底した上で、一般の農村家庭での宿泊体験や農業体験を伴う、関西の中学校や関東の高校からの修学旅行生の受入れを行った。(西部総合県民局)
- ・徳島県月見ヶ丘海浜公園において、緑豊かな海浜の景観、公園施設を生かしたバーベキュー体験等を通じて、キャンプ体験型旅行の誘致を行った。(都市計画課)

■豊かな自然環境を活かしたアクティビティによる誘客促進

動画配信サイト「YouTube」に専用チャンネル「みぎアゲTV」を開設し、県南部の観光資源やアクティビティに関する情報発信を行ったほか、四国の右下観光局と連携し、ファミリー層向けの体験型ツアーや「DMV+1」看板商品の企画造成による誘客促進に取り組んだ。また、「四国の右下」の魅力を国内外に広く発信するため、新たに創設した「四国の右下観光大使」を活用し、著名人の発信力を生かしたPR活動を行った。

(再掲/南部総合県民局)

- ・感染リスクを恐れずに楽しめる屋外での体験プログラムの磨き上げを目指し、折りたたみ自転車を使った散策「ポタリングツアー」や渓谷を満喫する旅「キャニオニングツアー」、清流吉野川を満喫できる「川カヌー」のモニタリングツアーを実施した。(西部総合県民局)



ポタリング

■食を活用した誘客促進

- ・徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」において、「食」をテーマにした観光グルメガイド「たべたび徳島」により、本県の誇る食の魅力を発信した。(観光政策課)
- ・観光部局の「#徳島あるでないで」宿泊プラン造成強化事業と連携し、「阿波ふうど繁盛店」において、県産食材を使用した料理を提供する「食べに行きたい“徳島”キャンペーン」を展開するとともに、参加店舗で対象メニューを飲食された消費者に県産食材の魅力を発信いただく「Instagram投稿キャンペーン」や「アンケートキャンペーン」を実施し、「徳島の食」の魅力発信の強化と、新たなファンの獲得を図った。(もうかるブランド推進課)
- ・徳島県産八モの認知度向上を図るため、生産者団体等で組織する「徳島の活鱧ブランド確立対策協議会」と連携し、八モ料理を注文された方、または八モ商品を購入された方の中から抽選で、本県ならではの水産物等を贈呈する、「徳島の活鱧料理味わいキャンペーン」を実施し、徳島県産水産物の魅力を発信した。(水産振興課)
- ・ONSEN・ガストロノミーウォーキングin大歩危祖谷温泉郷(R4.10.30日開催、参加者145名)に参画し、「大歩危雲海汁」「やつまとバターのおやつ」「でこまわし」などのにし阿波ならではの食のPRを行った。(西部総合県民局)



でこまわし

- ・「にし阿波」のおすすめ物産として認証している「千年のかくれんぼ」ブランドの認知度の向上やブランド化、販路拡大に向け、地元や首都圏での認証商品使用メニューの試食会開催や、旅行博・物販イベントでのPR、展示・販売などに取り組んだ。(西部総合県民局)

- ・にし阿波が「世界農業遺産」に認定されたことを契機に、持続性のある地域経済を実現するため、「徳島剣山世界農業遺産推進協議会」と連携し、世界農業遺産ブランド認証商品の充実や飲食店と連携した食事メニューの開発、販売等による売れる商品づくりを推進した。
(西部総合県民局)

- ・民間企業との連携により、各種イベント（地元コンビニエンスストアでの「木頭ゆず祭り」や徳島市ショッピングモールでの「木頭ゆずフェア」等）を開催し、地理的表示（GI）保護制度に登録された「木頭ゆず」や文化庁の100年フードに選ばれた「かきまぜ」とともに地域の魅力を発信した。（南部総合県民局）

■世界遺産登録への取組み

- ・四国遍路の世界文化遺産登録に向け、課題である資産の保護を進めるため、札所と遍路道の調査を行うとともに、世界遺産登録推進協議会の「普及啓発」部会や「普遍的価値の証明」部会等において、広報活動や研究会等を実施し、世界遺産登録に向けた機運の醸成を図った。また、「日本遺産フェスティバルin関門」へブース出展を行うなど、普及啓発を実施した。
(文化資源活用課)

- ・鳴門の渦潮の世界遺産登録に向け、兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会総会等において、これまでの学術調査結果に関する発表や報告書を刊行するなど、鳴門の渦潮が有する文化的価値を広く発信するとともに、「鳴門の渦潮」世界遺産パネル展等の普及啓発活動を実施し、世界遺産登録に向けた機運醸成を図った。（文化資源活用課）

■文化資源の観光産業への開花

- ・「左手のピアニスト」として活躍する智内威雄氏によるピアノリサイタルの開催やドイツへの阿波人形浄瑠璃派遣など、これまで磨き上げてきた「あわ文化4大モチーフ」の発展とともに、徳島に息づく「あわ三大音楽」を進化・振興することで県民が主役となる文化活動を促進し、心豊かな暮らしの実現につなげるため、「阿波人形浄瑠璃」「阿波藍」「あわ三大音楽」等への支援及び魅力を発信した。（文化・未来創造課）



阿波人形浄瑠璃

- ・文化拠点施設を結ぶクルーズ船「ひょうたん島 水上タクシー」の運航など、文化資源を活用し「文化・観光・経済」の好循環を図った。（文化・未来創造課）



水上タクシー

- ・東京都での工芸品展に、阿波正藍しじら織を出展し、伝統的工芸品産業の振興を図った。
（観光政策課）

◆伝統工芸青山スクエア特別展 R4.12.28～R5.1.3 伝統工芸青山スクエア

- ・徳島県物産観光交流プラザ「あるでよ徳島」で、しじら織、大谷焼、阿波和紙などの伝統的工芸品の販売を実施し、地場産業の振興を図った（観光政策課）

■アドベンチャーツーリズムの推進

- ・「アウトドア」、「癒し」、「貸し切り」、「オーダーメイド」などをキーワードに、「滞在型・通年型」の観光コンテンツやコロナ禍における「ニューノーマル」に対応し「ニューツーリズム」の磨き上げを実施するとともに、国内外の旅行会社にプロモーション活動を実施した。（観光政策課）

■ナイトタイムエコノミーの推進

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいる県内観光消費の回復を図るため、県外からの誘客が期待できる感染症対策を実施したイベントの開催を「ニューノーマルイベント活性化事業補助金」により支援した。（再掲／観光政策課）

■新たな観光コンテンツの発掘・磨き上げ

- ・徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」において、季節ごとに旬の情報を収集、発信した。また、開催中の地域イベントに参加し、体験談などを随時SNSで発信したほか、市町村や市町観光協会等からの情報提供により、観光情報の発信・観光コンテンツの発掘等を促進した。（観光政策課）
- ・DMVの更なる認知度向上・利用促進を図るため、沿線地域や他の交通事業者ともコラボレーションした運行開始一周年記念イベントを開催したほか、旅行会社向け商談会や旅行博等での誘客営業など県内外でのプロモーションを実施した。また、四国の右下観光局と連携し、DMVと県南部の観光資源を組み合わせた「DMV+1」看板商品の企画造成による誘客促進に取り組んだ。（次世代交通課・南部総合県民局）



DMV運行開始一周年記念イベント

6 情報発信力の強化

方向性

本県の魅力を「求める人に必要な情報」を効果的に発信するため、ウェブサイトやメディア、SNSを活用するとともに、重点地における観光プロモーションの開催やファムツアーを実施することにより、本県の認知度と魅力度の向上を図ります。

【実施状況】

■ ICT技術を活用した情報発信

- ・本県の認知度向上や観光客の増加を図るため、スマートフォンで利用できる観光アプリ「徳島たびプラス」により、パスポート形式のスタンプラリーを行うなど、観光客の県内における周遊促進や観光情報の発信に取り組んだ。（再掲／観光政策課）

◆R4年度 「徳島たびプラス」おもてなし施設数 約450施設

- ・徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」において、人工知能(AI)を活用したFAQサービスや体験・食等の外部サイトとの連携機能により効果的な情報提供を行うとともに、季節ごとに旬の情報を収集、発信した。また、開催中の地域イベントに参加し、体験談などを随時SNSで発信したほか、市町村や市町観光協会等からの情報提供により、観光情報を発信した。（再掲／観光政策課）
- ・徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」、徳島県多言語観光情報ウェブサイト「Discover Tokushima」（英語・繁体字・簡体字・ハングル）による情報発信、SNSを活用した情報発信（香港向け、台湾向け、タイ向け、英語圏向け）を実施した。（再掲／観光政策課・県観光協会）

■ マスメディア等を活用した情報発信

- ・アフターコロナにおける外国人観光誘客を促進するため、旅行会社への各種助成を行うとともに、周遊促進に向け、近隣県と連携し、海外メディアを活用した情報発信等を行った。（再掲／観光政策課）
- ・本県の認知度向上や観光需要の喚起を図るため、首都圏において交通広告を軸にした魅力発信を行った。（東京本部）
- ・各種新聞やフリーペーパー等に、観光やイベントに関する広告や関連記事を掲載してもらうことにより、徳島県の観光をPRした。また、テレビや雑誌等の取材に対して積極的に協力し、観光素材や特産品のマスメディアへの露出を促進した。（観光政策課、東京本部、関西本部）
- ・大阪・関西万博がめざす「持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献」を踏まえ、「SDGs先進県」としての徳島の魅力を伝えるため、情報発信ツールとして有効なYouTubeを活用し、県内のSDGs関連の観光素材などを紹介する動画を作成した。（関西本部）

- ・「徳島県ロケーション・サービス」を中心に、ロケ地に関する情報提供やロケ撮影時の協力など、積極的にロケの誘致・支援を行った。（観光政策課）



徳島県ロケーション・サービス

- ・DMVの運行開始一周年を契機として、ラッピング列車・バスの運行や駅や空港等でのサイン広告、インフルエンサーによるWebメディアを通じたプロモーション活動など、南部地域を中心に徳島県の観光を国内外にPRした。

また、DMVをはじめとする「四国の右下」の魅力を国内外に広く発信するため、新たに創設した「四国の右下観光大使」を活用し、著名人の発信力を生かしたPR活動を行った。

（次世代交通課・南部総合県民局）

- ・旅行会社向けプロモーションとして、商談会、セミナー、セールスを実施した。（再掲／観光政策課）

◆商談会

- ・「オール徳島」観光商談会 R4.5.31

◆観光セミナー

- ・四国ブロック観光情報交換会R4.6.7
- ・教育旅行誘致説明会(東京)R5.3.6-7



観光セミナー

◆セールス

- ・JAL青森チャーターセールス（青森） R4.7.25,26
- ・バス助成利用促進セールス（奈良・京都・広島） R5.3.20,23,24

■大都市圏における情報発信

- ・チャーター便就航地域や貸切バス助成事業利用実績地域において、観光プロモーション、旅行会社セールス等を実施した。（観光政策課）

◆四国ブロック観光情報資料提供（東京）

◆旅行会社セールス等（青森、広島、奈良等）

- ・県外本部内観光コーナー、都内アンテナショップなどのPRコーナーにおいて観光ポスター等を掲示するとともに、各種観光パンフレットを来客者や旅行業者に提供した。また、各種イベントにおいても積極的に観光情報を提供した。（再掲／東京本部、関西本部）

■アンテナショップ等による情報発信

- ・全国に向けた、徳島県産品・観光の情報発信や県産品の販路拡大を実現するため、大阪・名古屋での物産センターや、東京・福岡・札幌においてコンビニ協働事業を活用したアンテナショップの運営、「阿波とくしまアンテナショップ」認定店の支援等を行った。

（再掲／観光政策課）

- ・首都圏をはじめ大都市の協力店（飲食店）と連携したメニューフェアや徳島物産展の開催のほか、情報発信・交流拠点「ターンテーブル」「地域商社阿波ふうど」及び「2台のPR車両」など本県ならではの「強力な推進ツール」のフル活用により、コロナ禍の消費者の行動変容やニーズに対応した県産品の認知度向上、販売拡大を促進し、「徳島ファン」の拡大や「とくしま回帰」へ繋げる取組を実施した。（再掲/もうかるブランド推進課）



阿波ふうど号

■「とくしま特選ブランド」の活用

- ・「徳島ならではの優れた県産品」である「とくしま特選ブランド」を、新たに16点認定した。（観光政策課、もうかるブランド推進課）



とくしま特選ブランド

- ・徳島の食に関する情報をまとめた「阿波ふうどまるごとサイト」に、認定商品をPRするデジタルカタログの掲載や「オンラインショップ」の紹介、関西圏の商業施設「枚方T-SITE」における「とくしま特選ブランドフェア」の開催など、「とくしま特選ブランド」の認知度向上や販路拡大につなげる取組を実施した。（もうかるブランド推進課）

■「徳島ファン」による情報発信

- ・阿波おどりや徳島の魅力を紹介するイベント「阿波おどりフェスタ」についてSNSで発信するとともに、徳島ゆかりのインフルエンサーを活用することで、多くの参加者による投稿につなげた。（再掲/東京本部）
- ・「2025年大阪・関西万博」の開催を控えた関西圏において、徳島県の魅力を発信し、「若者」や「女性」を主なターゲットとして「徳島ファン」の拡大を図るため、「関西万博」、「阿波おどり」、「三好長慶」を主要なテーマとしたイベントを天王寺駅周辺にて開催した。（再掲/関西本部）

■「阿波ふうどスペシャリスト」による情報発信

- ・「阿波ふうどスペシャリスト」を育成・拡大するとともに、県産食材メニューや郷土料理を取り扱う県内飲食店である「阿波ふうど繁盛店」との連携を強化することにより、効果的な「阿波ふうど」のPRを波及的に行った。また、「徳島の食」の魅力を発信することにより、「徳島ファン」を増やし、徳島への「人の流れ」を創出した。（もうかるブランド推進課）

<阿波ふうど>

全国に向け「徳島の食」の魅力や価値を伝えるブランドネーム



阿波ふうど
AWA FOOD

「阿波ふうど」ロゴ

■県民による観光情報や魅力の発信

- ・徳島の魅力を自ら体感し、その良さを発信できるよう、座学や体験講座に加え、ZoomやYouTube、サテライト会場で配信される動画を視聴いただく形式により郷土の良さやその価値について学ぶ講座を開催した。（再掲／県立総合大学校本部）
- ・徳島の文化・自然・暮らし等に関する地域に密着した学習を通して、「ふるさと徳島」を再発見するための講座や、地域の活性化、特色ある地域づくりなどの取組みにつながる講座を開催した。（再掲／総合教育センター）
- ・静水面でラフティング・SUPを楽しめる「ウォータースポーツ体験」をはじめとする、にし阿波ならではの地域の魅力を再発見する「新あわ学講座」を開催した。（再掲／西部総合県民局）
- ・「#徳島あるでないで」や徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」のSNS（フェイスブック、インスタグラム、ツイッター）を活用し、県内の観光情報を発信した。（再掲／観光政策課）
- ・県内在住の観光振興に興味がある人材を対象に、情報提供を呼びかけ、徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」等を通じて広く情報発信を行った。（再掲／県観光協会）

■J1復帰を契機とした情報発信

- ・「PRIDE OF 中四国」において、ホーム戦及びアウェー戦時に試合会場にて観光PRを行い、来場者に向け観光情報の発信を行った。また、ハーフタイム時には抽選会を行い、徳島県産物品を景品として用いることで観光面と物産面の両方をPR活動に取り組んだ。（再掲／にぎわいづくり課）

7 広域観光の推進

方向性

県内の各圏域で形成されている地域連携DMO、四国、瀬戸内、関西で形成されている広域連携DMO等と連携し、スケールメリットを活かした施策に取り組むことにより、集客力の高い広域観光施策を推進します。

【実施状況】

■ DMO等との連携

- ・ 関西広域連合、関西観光本部、四国ツーリズム創造機構、せとうち観光推進機構と連携し、観光PRや商談会への参加、情報発信など、スケールメリットを生かした観光プロモーションにより広域周遊を促進した。（再掲／観光政策課）



- ・ 県東部エリアを管轄する（一社）イーストとくしま観光推進機構、県西部エリアの（一社）そらの郷、県南部エリアの（一社）四国の右下観光局の3つのDMOや、観光協会と連携からなる「徳島県DMO観光推進協議会」を設立し、また地元観光事業者の独自アイデアを生かした滞在型の県内周遊メディアツアーを実施、旅行関係メディア5社（るるぶ、ことりっぷ、ディスカバー・ジャパン、旅の手帖、コロカル）に各ルートの魅力が掲載された。（再掲／観光政策課、南部総合県民局、西部総合県民局）

◆ 周遊性・滞在性を高めるメディアツアーの実施

- ・ 東部から西部ルート R4.12.20～12.22
- ・ 東部から南部ルート R5.2.10～2.12

■ 近隣府県との連携

- ・ 四国ツーリズム創造機構及び主要構成団体である四国4県、JR四国と連携し、観光説明会と商談会を開催するとともに、適宜観光イベント出展等を実施した。（再掲／観光政策課）

◆ 観光説明会

- ・ JR商品説明会 R4.5.23

◆ 観光商談会

- ・ 四国観光商談会（大阪） R4.10.20
- ・ 四国観光商談会（東京） R4.10.27

- ・ 兵庫県と連携し、割引クーポン付き「淡路島&徳島とくたく周遊ガイド」の作製・配布を実施し、周遊促進を図った。（再掲／観光政策課）

淡路島&徳島とくたく周遊ガイド



**「徳島県観光振興基本計画（第3期・改定版）」数値目標
令和4年度進捗状況一覧表**

数値目標（項目）	単位	現況値		実績値（4年度）		目標値		令和4年度進捗状況の説明	所属
		年度	年度	年度	年度	年度	年度		
【基本目標】									
国内延べ宿泊者数（暦年）	万人	220	H29	184	260	R4	誘客コンテンツの整備や効果的な情報発信、宿泊者数増加及び観光誘客促進、地域の観光消費につながる取組を実施した。	観光政策課	
延べ観光入込客数（暦年）	万人	1,951	H29	1,404	1,980	R4	誘客コンテンツの整備や効果的な情報発信、宿泊者数増加及び観光誘客促進、地域の観光消費につながる取組を実施した。	観光政策課	
年間観光消費額（暦年）	億円	889	H29	1,286	1,090	R4	誘客コンテンツの整備や効果的な情報発信、宿泊者数増加及び観光誘客促進、地域の観光消費につながる取組を実施した。	観光政策課	
【個別目標】									
<重点施策>									
（1）国内誘客強化施策									
国内延べ宿泊者数（暦年）〔再掲〕	万人	220	H29	184	260	R4	誘客コンテンツの整備や効果的な情報発信、宿泊者数増加及び観光誘客促進、地域の観光消費につながる取組を実施した。	観光政策課	
延べ観光入込客数（暦年）〔再掲〕	万人	1,951	H29	1,404	1,980	R4	誘客コンテンツの整備や効果的な情報発信、宿泊者数増加及び観光誘客促進、地域の観光消費につながる取組を実施した。	観光政策課	
ハッシュタグ投稿数	万件	—	H29	315	450	R4	SNSで「徳島県」を想起する統一的なハッシュタグを付けた投稿を促進し、認知度の向上を図った。	観光政策課	
（2）滞在型観光推進施策									
観光商談会参加者数（累計）	人	—	H29	1,197	1,500	R4	東京都内での「オール徳島」観光商談会の開催など、旅行会社向けのプロモーションを実施した。	観光政策課	
ニューノーマル対応とくしま農林漁家民宿の宿泊者数	人	—	H29	3,639	4,000	R4	誘客促進のため、感染症予防対策等の研修及び、狩猟体験モニターツアーを実施した。また、とくしま農林漁家民宿等の情報を掲載したデジタルパンフレットを制作した。	鳥獣対策・ふるさと創造課	
（3）国際観光プロモーション施策									
ニューノーマルに対応した観光プロモーション（観光セミナー、商談会等）実施回数（累計）	回	—	H29	60	60	R4	旅行会社向けプロモーションとして、オンラインも活用した商談会、ファムツアー等を実施した。	観光政策課	
（4）ニューノーマルMICE誘致促進施策									
現地開催とオンラインを組み合わせた会議等（中四国規模以上）開催回数（累計）	万人	—	H29	50	45	R4	商談会への参加等、積極的な誘致活動、開催助成金の支給等により、コンベンション誘致の促進に取り組んだ。	観光政策課	
<基本施策>									
① 観光マーケティングの強化									
観光満足度の向上（非常に満足）	%	21.9	H29	54.7	50.0	R4	宿泊施設の魅力アップなど観光客を温かく迎える誘客基盤の強化等に取り組んだ。	観光政策課	
② 安全安心な受入環境の推進									
「感染拡大予防ガイドライン実践店ステッカー」・「事業者版スマートライフ宣言」導入宿泊施設数（累計）	件	—	H29	393	500	R4	「感染拡大予防ガイドライン実践店ステッカー」の取組に加え、従業員等の方々に抗原検査を受けていただいている宿泊施設を「コロナ対策三つ星店」と位置づけ、宿泊における安全・安心の確保に努めた。	観光政策課	
③ 観光誘客基盤の強化									
とくしま特選ブランドの商品総売上額	億円	106	H29	83	160	R4	世界に誇れるトップブランドをコンセプトに国内外に誇れる品質、商品ストーリー、独自のこだわりの各要素をもち合わせた県産品を広くPRした。	観光政策課	
おもてなしタクシー認定件数（累計）	件	71	H29	75	180	R4	おもてなしタクシー乗務員の拡充を図るため、認定者拡大プロジェクトを実施した。また、おもてなしタクシーの利便性及び認知度の向上を図るための広報を実施した。	観光政策課	
Wi-Fiアクセスポイント（累計）	件	824	H29	1,292	1,000	R4	とくしま無料Wi-Fi（Tokushima Free Wi-Fi）の民設移行事業においてWi-Fi未整備施設への整備を促進し、順調にアクセスポイント数を伸ばすことができた。	観光政策課 デジタルとくしま推進課	
四国横断自動車道の整備	—	香川県境～徳島IC間供用中	H29	促進中	促進中	R4	「四国8の字ネットワーク」を形成する徳島南部自動車道の整備を促進した。	高規格道路課	

**「徳島県観光振興基本計画（第3期・改定版）」数値目標
令和4年度進捗状況一覧表**

数値目標（項目）	単位	現況値	実績値 （4年度）	目標値	令和4年度進捗状況の説明	所属
④ 観光人材の育成・強化						
観光ボランティア等研修会実施（累計）	件	—	H29 81	100	R4 平成30年度に行った通訳人材養成セミナーや、令和2年度から実施しているとくしま観光アカデミーで観光ボランティアのスキル向上を図った。	観光政策課
観光サポーター数（累計）	人	—	H29 117	200	R4 令和元年度から「とくしまLOVEサポーター」という登録制度を開始し、徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」やイベントで登録を呼びかけている。	観光政策課
⑤ 観光コンテンツの充実						
新たな滞在型コンテンツ造成（累計）	件	—	H29 77	60	R4 各DMOと連携し、海や河川など、徳島の自然を活かしたコンテンツや、古民家や山村の暮らしを活かしたコンテンツを活用し、それらの磨き上げや旅行商品化に取り組んだ。	観光政策課
とくしまマラソン満足度	点	76.8	H29 74.3	85.0	R4 4年ぶりに実走大会を開催し、国内から約6千人が出走した。	にぎわいづくり課
体験型教育旅行における協議会受入泊数	泊	4,967	H29 2,375	6,000	R4 旅行先の地域が主体となって、地域の良さをアピールし、教育旅行プログラム等を組み立て、集客に取り組んだ。また、教育旅行誘致のため、教育旅行セミナーでのPRや東京都、広島県等の学校に直接訪問し、積極的な営業に取り組んだ。	観光政策課
県産品を使ったメニュー・商品開発数（累計）	件	239	H29 374	480	R4 コンビニエンスストアやスーパーマーケット等との連携による県産品を使った商品開発を行い、県産品の魅力を発信した。	観光政策課
県産品を通じた旅行商品の造成（累計）	件	—	H29 22	12	R4 各DMOと連携し、藍染めや遊山箱などの「伝統工芸」や徳島産の食材を活用した旅行商品造成に取り組んだ。	観光政策課
⑥ 情報発信力の強化						
観光サポーター数（累計）〔再掲〕	人	—	H29 117	200	R4 令和元年度から「とくしまLOVEサポーター」という登録制度を開始し、徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」やイベントで登録を呼びかけている。	観光政策課
観光アプリのダウンロード数（累計）	万件	—	H29 1.3	6	R4 スマートフォン対応の観光アプリを開発し、「スタンプラリー機能」「クーポン機能」「地図・ナビゲーション機能」など、タイムリーで効果的な情報発信に取り組んだ。また、アプリの認知度向上を図るため交通機関（空港等）や各種イベントにおいて積極的な広報を行った。	観光政策課
観光情報サイト総アクセス数	万件	523	H29 856	600	R4 県内の観光資源や各種イベントに関する情報などタイムリーに観光客のニーズに即した観光情報の提供を行った。	観光政策課
県外で県産品が食べられる店数	件	133	H29 204	200	R4 県外で県産品を食べられる店、県外で県産品が買える店を盛り起こすことにより、県産品の販売体制の充実を図った。	観光政策課
アンテナショップ新規取扱商品数（累計）	件	510	H29 885	850	R4 県産品の販路拡大・販売促進を図るため、県外アンテナショップを活用し、県産品の展示・PR・販売を行うとともに、大都市圏における消費傾向の把握や、定期的な検証会を開催し、新商品の開発や既存商品のブラッシュアップに繋げた。	観光政策課
ロケーション支援件数	件	59	H29 20	85	R4 54件対応し、20件の番組制作（放映）等につながった。	観光政策課
⑦ 広域観光の推進						
ひょうご徳島ツーリズム助成件数（累計）	件	381	H29 470	600	R4 令和3年度で本事業は終了したが、「阿波ナビスタンプラリー」や「淡路島&徳島ととくしま周遊ガイド」など兵庫県との連携は引き続き行う。	観光政策課